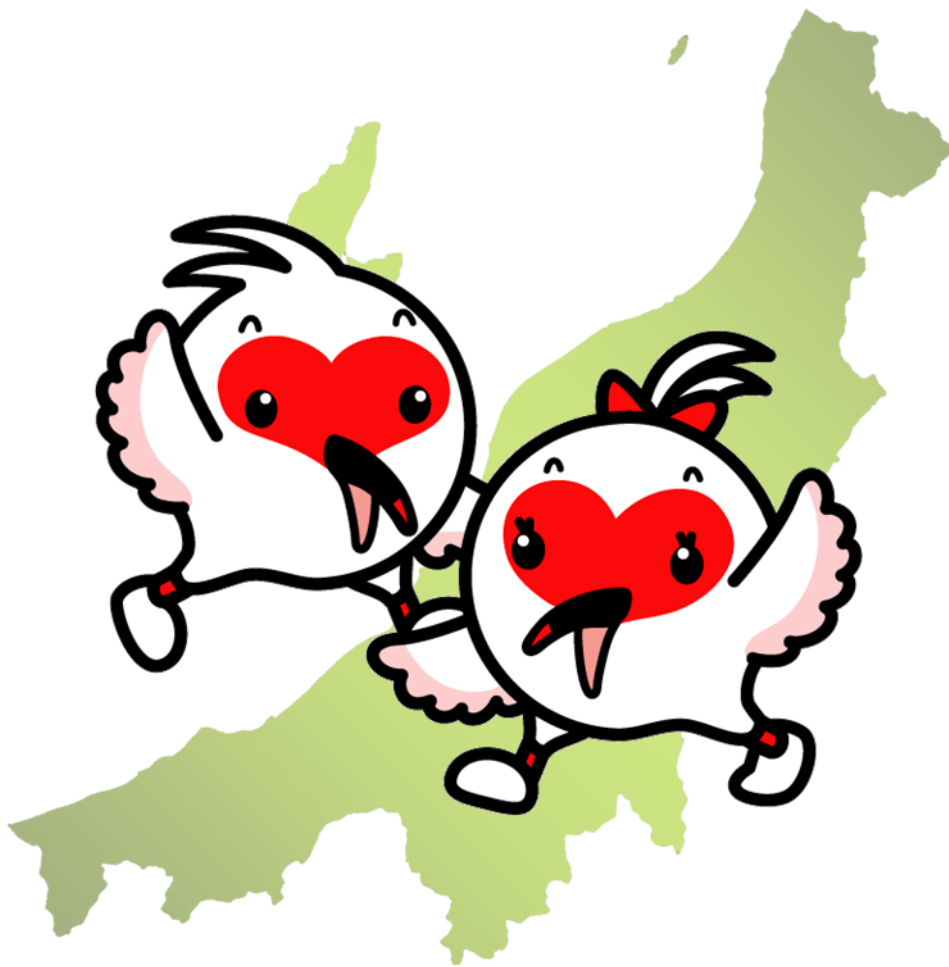


医療連携ノート（大腸）



病院名：

医療連携ノートとは

手術などの治療を行った病院とかかりつけ医が協力して（医療連携）、専門的医療と総合的な診療を適切にバランスよく提供するために使用する患者さん用のノートです。安全で質の高い医療を切れ目なく提供するため、専門医が協力して、新潟県共通のものを作成しました。

★医療連携ノートの内容

- ①患者さんの病状、治療内容等の診療情報
- ②今後の診療予定表
- ③診療予定表に基づく受診日の診療記録

★医療連携ノートを使うことによる利点

- ①診療予定表により、「いつ」「どこで」「どんな」検査や診療を受ければよいか分かります。
- ②医療機関同士が患者さんの治療経過を共有できるので、より適切な診療が可能になります。
- ③かかりつけ医がもうひとりの主治医となるため、通院時間や待ち時間が短縮し、負担が軽減されます。ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。

緊急を要する場合で休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、（拠点病院名、窓口名）（電話番号／内線番号）までご連絡ください。

他の医療機関を受診する際にお持ちいただくと、医療連携ノートから病状や診療状況を把握することができ、迅速で適切な対応が可能になります。また、保険薬局にお持ちいただければ、より適切な服薬指導を受けることができます。

もくじ

- 🔔 退院後の日常生活 : p.3
- 🔔 退院後の食生活 : p.4
- 🔔 退院後もこれだけは忘れずに : p. 5~ p.6
- 🔔 大腸がん術後連携パス : p.7 ~ p.26
- 🔔 メモ : p.27 ~ p.28
- 🔔 〈拠点病院名〉の各部署・担当等のご案内 : p.29 ~ p.30

退院後の日常生活

手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、術後1～2ヶ月で便が柔らかくなりすぎたり、逆に便秘気味になる場合がしばしばあります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

退院後の食生活



食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分や食物繊維を多くとるようにし、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続き、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。

退院後もこれだけは忘れずに！

🔔 定期的な診察や検査に行きましょう

術後5年を目処に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。

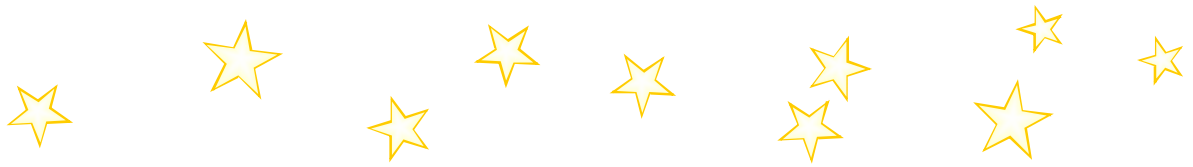


定期的な診察
や検査を

🔔 術後補助化学療法について

手術によりがんを切除できた場合でも、リンパ節転移があった場合に、再発率が高くなることが知られています。このような場合、手術を行った後に化学療法を行うことで、再発を予防するあるいは再発までの期間を延長できることがわかっています。このような治療を、術後補助化学療法といいます。一般には、術後補助化学療法の対象はリンパ節転移があるステージⅢ期の患者さんに対して、6ヶ月から1年程度の期間です。





指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。



悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前向きな生活を送ってください。



大腸がん術後連携ノート(1～6ヶ月)

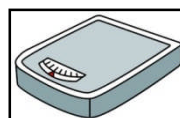
ID :
氏名 :

○:必須項目 △:必要時に行います
▲:補助化学療法施行時に実施

*あなたが手術を受けた日 平成 年 月 日			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後)			1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
		体重			○			○
視触診		腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診(直腸癌)						○
採血		血算・生化学			○			○
		CEA・CA19-9			○			○
検査		胸部レントゲンあるいはCT検査						○
		腹部超音波あるいはCT検査						○
		大腸内視鏡検査						△
投薬		一般薬			△			△
		補助化学療法薬			▲			▲
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
--	---

かかりつけ医 → 病院

	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
--	---

大腸がん術後連携ノート(7ヶ月～1年)

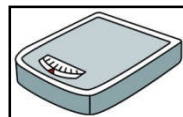
ID : _____
 氏名 : _____

○：必須項目 △：必要時に行います
 ▲：補助化学療法施行時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1年
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
	体重				○			○
	視触診	腹部理学所見						
一般的内科的診察								
直腸指診(直腸癌)							○	
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○ CTが望ましい
	大腸内視鏡検査							○
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬				▲			▲
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
 医師に相談しましょう



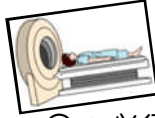
- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(1年1～6ヶ月)★

ID : _____
 氏名 : _____



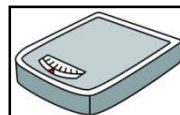
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月	1年4ヶ月	1年5ヶ月	1年6ヶ月
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
		体重			○			○
視触診		腹部理学所見						
		一般的内科的診察						
		直腸指診(直腸癌)						○
採血		血算・生化学			○			○
		CEA・CA19-9			○			○
検査		胸部レントゲンあるいはCT検査						○
		腹部超音波あるいはCT検査						○
		大腸内視鏡検査						
投薬		一般薬			△			△
		補助化学療法薬						
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
 医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(1年7ヶ月～2年)★

ID : _____
氏名 : _____



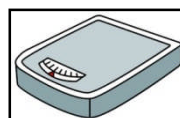
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			1年7ヶ月 月 日	1年8ヶ月 月 日	1年9ヶ月 月 日	1年10ヶ月 月 日	1年11ヶ月 月 日	2年 月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
	排便			○			○	
	体重							
視触診	腹部理学所見							
	一般的内科的診察							
	直腸指診(直腸癌)						○	
採血	血算・生化学			○			○	
	CEA・CA19-9			○			○	
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査						○	
	腹部超音波あるいはCT検査						○ CTが望ましい	
	大腸内視鏡検査						△	
投薬	一般薬			△			△	
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(2年1～6ヶ月)★

ID : _____
 氏名 : _____



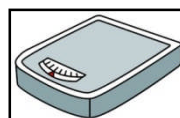
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月	2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
			(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)					
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
	排便							
	体重			○				○
視触診	腹部理学所見							
	一般的内科的診察							
	直腸指診(直腸癌)							○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
 医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(2年7ヶ月～3年)★

ID : _____
氏名 : _____



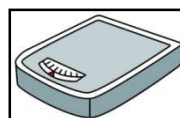
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
(術後) 受診日 (かかりつけ医は適宜受診)			2年7ヶ月 月 日	2年8ヶ月 月 日	2年9ヶ月 月 日	2年10ヶ月 月 日	2年11ヶ月 月 日	3年 月 日
診察	問診	食欲						
		腹部症状						
		排便						
		体重			○			○
視触診	腹部理学所見							
	一般的内科的診察							
	直腸指診 (直腸癌)							○
採血	血算・生化学				○			○
	CEA・CA19-9				○			○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○ CTが望ましい
	大腸内視鏡検査							○
投薬	一般薬				△			△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



★大腸がん術後連携ノート(3年1～6ヶ月)★

ID : _____
 氏名 : _____

○：必須項目 △：必要時に行います

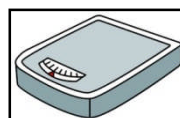
□：ステージⅢ大腸癌の際には実施



		かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医
		3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月	3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲					
		腹部症状					
		排便					
	体重						○
視触診	腹部理学所見						
	一般的内科的診察						
	直腸指診(直腸癌)						○
採血	血算・生化学						○
	CEA・CA19-9						○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査						□
	腹部超音波あるいはCT検査						□
	大腸内視鏡検査						
投薬	一般薬						△
	補助化学療法薬						
自己検診	腹部のチェック	体重					
		腹部の症状はないか					
		便通の異常はないか					
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか					
		全身倦怠感はないか					
		口内炎はないか					



気になる項目をチェックし、
 医師に相談しましょう



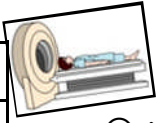
- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(3年7ヶ月～4年)★

ID : _____
氏名 : _____



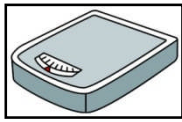
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月	3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						○
		腹部症状						
		排便						
	体重							
視触診	腹部理学所見							
	一般的内科的診察							
	直腸指診(直腸癌)						○	
採血	血算・生化学						○	
	CEA・CA19-9						○	
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査						○	
	腹部超音波あるいはCT検査						○	
	大腸内視鏡検査							
投薬	一般薬						△	
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便通の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(4年1～6ヶ月)★



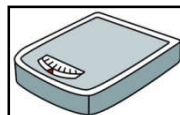
ID :
氏名 :

○：必須項目 △：必要時に行います
□：ステージⅢ大腸癌の際には実施

		かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院 or かかりつけ医
		4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月	4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲					
		腹部症状					
		排便					
	体重						○
視触診	腹部理学所見						
	一般的内科的診察						
	直腸指診(直腸癌)						○
採血	血算・生化学						○
	CEA・CA19-9						○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査						□
	腹部超音波あるいはCT検査						□
	大腸内視鏡検査						
投薬	一般薬						△
	補助化学療法薬						
自己検診	腹部のチェック	体重					
		腹部の症状はないか					
		便通の異常はないか					
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか					
		全身倦怠感はないか					
		口内炎はないか					



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

★大腸がん術後連携ノート(4年7ヶ月～5年)★

ID : _____
氏名 : _____



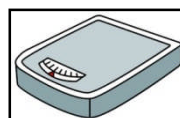
○：必須項目 △：必要時に行います



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医	病院
			4年7ヶ月	4年8ヶ月	4年9ヶ月	4年10ヶ月	4年11ヶ月	5年
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
診察	問診	食欲						○
		腹部症状						
		排便						
	体重							
視触診	腹部理学所見						○	
	一般的内科的診察							
	直腸指診(直腸癌)							
採血	血算・生化学							○
	CEA・CA19-9							○
検査	胸部レントゲンあるいはCT検査							○
	腹部超音波あるいはCT検査							○
	大腸内視鏡検査							△
投薬	一般薬							△
	補助化学療法薬							
自己検診	腹部のチェック	体重						
		腹部の症状はないか						
		便秘の異常はないか						
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか						
		全身倦怠感はないか						
		口内炎はないか						



気になる項目をチェックし、
医師に相談しましょう



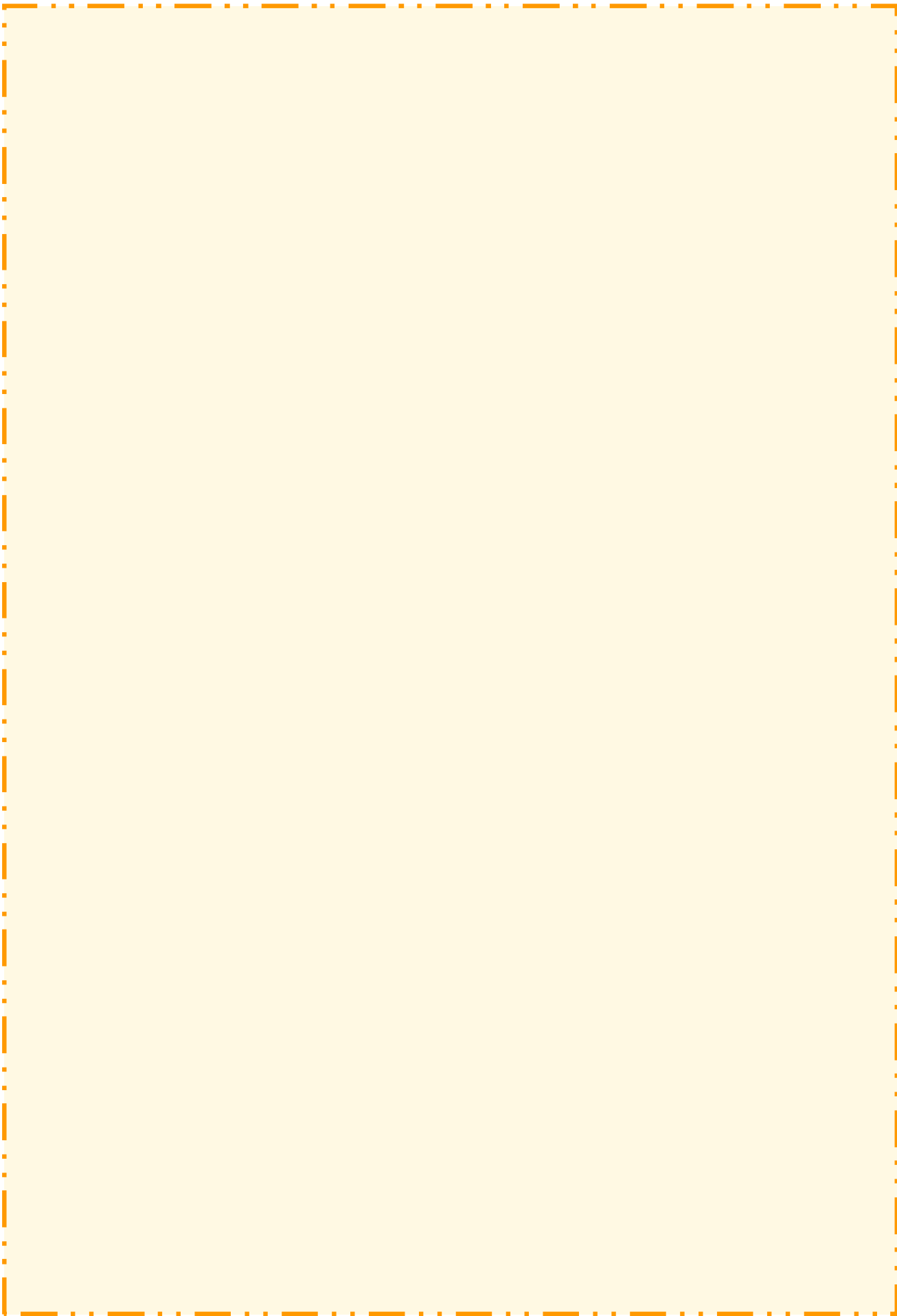
★定期受診は5年目まで
★定期受診日以外でも必要があれば受診

病院 → かかりつけ医

かかりつけ医 → 病院

- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

～メモ～



〈拠点病院名〉の各部署・担当等のご案内

がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、専任の医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族のほか、地域の方々ががんの治療について知りたい、今後の治療や療養生活のことが心配など、がんの治療にかかわる質問や相談、医療福祉に関する相談等をお受けしております。

相談は、直接、面談にてお話をうかがう方法と、電話にてお話をうかがう方法があり、必要に応じて院内の医師、薬剤師、栄養士、などと連携をとり相談支援にあたっております。

なお、相談は無料となっており、秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

相談時間：
(休診日は除く)

電話番号：

地域医療連携室

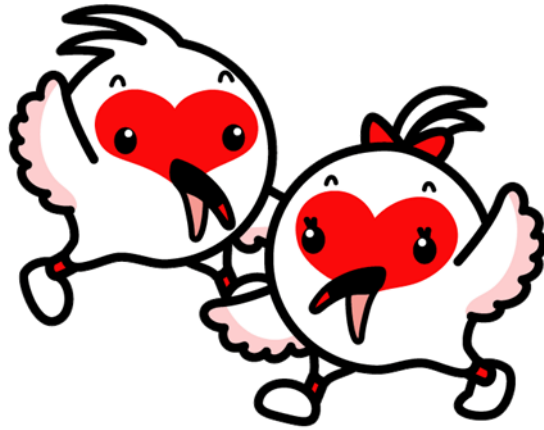
地域医療連携室では、地域医療機関との医療連携を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関の先生方と当院の医師とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たしています。

時 間：
(休診日は除く)

電話番号：







あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — —)

病院

(電話 — —)

平成22年12月